

「Unit4 ホームパーティー」

本単元で育成する資質・能力

思考力・判断力・表現力 自己形成力 知識・技能
主体的に学ぶ力

① 単元について(単元観・生徒観・指導観)

1 単元観

本単元は、中学校学習指導要領の「イ 話すこと(イ)自分の考えや気持ち、事実などを聞き手に正しく伝えること。」をふまえて指導する。アレックスがお店の店員と会話する場面から始まり、ベーカー先生の自宅で開かれたホームパーティーで、先生にペットについて尋ねたり、食事を終えた後に対話をしたり、という場面が展開される。買い物の場面やペットの話題は生徒にとって身近な題材である。

文法事項においては、名詞の複数形、How many～?の文、相手に指示や提案をする文など、日常的によく使われる表現を理解し会話できるようになることが必要となる。Unit3で習った一般動詞の復習を取り入れたい。

2 生徒観

本学級の生徒は表現豊かに表現活動に取り組み、ペアでの音読活動やゲーム形式の応答に楽しんで取り組んでいる。6月に行ったアンケート結果で「英語書くことは好きですか」という項目に対して、肯定的な回答は77%にとどまった。これは中学生になり「書くこと」の技能が加わったため、英語学習に難しさを感じており、「書くこと」に苦手意識をもっている生徒がいると考えられる。単元テストにおいてもbe動詞や一般動詞の区別につまずいており、生徒の学習内容の定着が十分とは言えない。また、「自分の考えや気持ち、事実などを英語で話している」という項目に対して肯定的な回答は61%にとどまった。このことから、自分のことを表現する能力に課題があることが考えられる。

3 指導観

指導にあたっては、本校の生徒には2つの課題があると考えている。1つめは書く活動である。主語や動詞を意識して繰り返し書く練習をさせることで基本的な文構造を定着させたい。また、自己表現力を高めるため、接続詞や副詞を用いたり文と文とのつながりを考えて書く指導も行っていく。さらには、新出文法を用いたオリジナルの対話文を作る活動と取り入れて自己表現力の育成を図りたい。

次に「話す」活動において「自分の気持ちや事実」を述べるような活動を取り入れていく。

そのため、ペア活動では相手に質問し答えてもらったあとに、相槌や追加質問を加えるよう指導したい。また、クラス全体でのインタビュー活動では生徒たちのより身近なテーマで問答できるような設定をしたい。

② 単元の目標と身に付けさせたい力について

1 単元の目標

- (1) 数を尋ねる問答や、相手に指示・提案する言語活動に積極的に取り組んでいる。
(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- (2) How many～?や複数形, Let's や命令文を使い, 書いたり適当に話したりしている。
(外国語表現の能力)
- (3) How many～?や複数形, Let's や命令文を用いた文の形・意味・用法を理解する。
(言語や文化についての知識・理解)

2 単元の評価規準

ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 外国語表現の能力	ウ 外国語理解の能力	エ 言語や文化についての知識・理解
相手の質問に対し, 自分の答えを話そうとしている。	相手に持っている物の数を尋ねたり, 自分の持っている物の数を答えたりしている。	/	How many～?や複数形, Let's や命令文を用いた文の形・意味・用法を理解している。

3 本単元で育成を目指す資質・能力

(1) 本校の設定した資質・能力と本単元との関わり

資質・能力		特に身に付けさせたい力	本単元での育成・評価
知識・技能	知	①学習したことを自ら語れる力 (知の構造化)	○
思考力・判断力・表現力	思	①根拠をもとに, 正しい判断をする力 (論理的思考力)	—
		②よりよい解決のため, いろいろな見方・考え方を持つ力 (批判的思考力)	—
		③自分の考えを相手が納得できるよう分かりやすく伝える力 (言語力)	○
主体的に学ぶ力	主	①自ら課題を見だし, 解決しようとする力	○
他者とのかかわる力	他	①他者と協力して, 課題を解決したり, 目標に向かって取り組んだりする力	—
		②他者とのかかわりを通して, 自分の考えを深めたり広げたりしようとする力	—
社会貢献力	社	①よりよい地域社会のために, 何をすべきかを考え実行しようとする力	—
自己形成力	自	①前向きにチャレンジし, より自律・自立した人間になろうとする力	○
		②自信を持つ力	—

(2) 本単元で本校の設定した資質・能力を身に付けさせるための手立て

資質・能力	資質・能力を身に付けさせるための手立て
知ー①	本単元で学習した複数形や数を尋ねる言い方について自分の言葉で説明させる。
思ー③	数を尋ねる言い方やその応答, 買い物に必要な表現をしようする場面を設定する。
主ー①	自分の考えや事実を英語で表現するために必要な文法事項を理解する。
自ー①	評価基準を明確にし, A基準を目指して努力するよう声かけをする。

③ 単元計画

1 単元の全体像（Ⅰ：学習内容、Ⅱ：学習活動、Ⅲ：単元として生徒に身に付けさせたい力）

Ⅰ ものの数を数えたり尋ねたりすることを、Ⅱ ペアで対話文を作ったり、相手に質問することを通して、Ⅲ 自分のことや事実をはっきりと相手に伝える力を身に付ける。

2 単元の終末で見取るパフォーマンス評価

パフォーマンス課題	評価基準
<p>あなたはアメリカでホームステイをしています。ホストマザーに10ドル渡され、おつかいを頼まれました。 買い物リストの中にあるものを店員役のALTと会話をして買しましょう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>買い物リスト</p> <p>Two packs of eggs Three apples An orange</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>品物の値札</p> <p>A pack of eggs ...3dollars An orange ... 2dollars An apple ... 1dollar</p> </div> <p>会話例 ALT: May I help you? How many apples do you want? 生徒: I want three apples and one orange. I want two packs of cherries, too. ALT: OK. That's 8 dollars, please. 生徒: Here you are. ALT: Thank you very much.</p>	<p>A 買い物に必要な表現(ほしいものを伝えたり、お金の渡したりする時の表現)を使って会話することができる。 複数形を使うことができる。 接続詞や副詞を一度は用いて自然な会話をしようとしている。</p> <p>B 買い物に必要な表現(ほしいものを伝えたり、お金の渡したりする時の表現)を使って会話することができる。 複数形を使うことができる。</p> <p>C 自分の買いたいものを伝えようとしているが、内容を相手にわかりやすく伝えられていない。</p>

3 学習内容と評価の計画

学習過程	時	<input type="radio"/> 本時のめあて <input checked="" type="radio"/> 学習内容	評 価				
			関	表	理	知	
課題の設定	1	<p><input type="radio"/> 数を数えるときに、日本語と英語での数え方にどのような違いがあるのか、考えることができる。</p> <p><input checked="" type="radio"/> 日本語の助数詞と複数形にする時の違いを話し合わせる。</p>	○				<p>評価規準 (評価方法) 【資質・能力】</p> <p>※評価規準の太字ゴシック体の部分において本校が設定した資質・能力を評価する。</p> <p>単数形と複数形に興味を持ち、日本語と英語の数の数え方に違いがあることに、気づくことができる。 ア (行動の観察) 【主一①】</p>

情報の収集	2	○単数形・複数形を使った文の形・意味・用法を理解することができる。 ●複数形の規則変化, 不可算名詞の数え方, 複数形の発音を理解する。				○ 複数形の規則変化や不可算名詞について理解することができる。 エ (ワークシート) 【主—①】
	3	○複数形を使って, 店でほしい物の注文や, 支払のやりとりをすることができる。 ●買い物の場面の会話文を読み, 店のメニュー表をもとに自分のほしいものを複数形を用いて注文する。 ●How many～?の用法を理解する。	◎	○		○ 会話練習に積極的に取り組もうとしている。 (行動の観察) 【思—③】
	4	○指示したり, 相手に提案する文の形を使って表現することができる。 ●Let'sや命令文を使って相手に提案する文を作る。		◎	○	○ 指示したり相手に提案する文を作り相手に伝えることができている。 (ワークシート・行動の観察) 【主—①】
整理・分析	5	○複数形や数を尋ねるときの問答について, 英文内の間違いを自分の言葉で説明できる。 ●英文内の文法的な間違いを正し, グループ内で説明し合う。	○		◎	○ 複数形, How many～?を用いた文構造を正しく理解している。 グループ内で相手に分かりやすく伝えようとしている。 ア・エ (行動の観察・ワークシート) 【知—①】
まとめ・創造・表現	6	○友達が持っているものの数を尋ねたり, 答えたりすることができる。 ●How many～?を用いて身近な持ち物の数を尋ねる。 ●How manyを含む文を作る。(本時)	○	◎		○ How many～?を用いた文を作ることができる。また, それに対して応答することができる。 ア (行動観察・ワークシート) 【思—③】
実行	7	○パフォーマンス課題 ●買い物メモに書かれた品物を買う時の会話テストを先生と行う。	○	◎		○ 複数形やHow many～?や買い物に必要な表現を使って, 会話をすることができる。 ア, イ (パフォーマンステスト) 【思—③】
まとめ	8	○単元のまとめ ●単元テスト			○	○ How many～?や複数形, Let'sや命令文を用いた文の形・意味・用法を理解している。 エ (単元テスト) 【主—①】

④ 本時の学習

1 本時の目標

友達が持っているものの数を尋ねたり, 答えたりすることができる。

2 本時の評価

評価規準 (評価の観点)	評価基準	
How many～?を用いた文を作ることができる。また, それに対して応答することができる。 (行動の観察・ワークシート) 【思—③】	A	複数形を使うことができる。 語順に気を付けて話すことができる。 相手の質問に主語, 動詞を用いて答えることができる。
	B	複数形を使うことができる。 相手の質問に答えることができる。
	C	複数形を正しく使うことができない。 相手の質問に答えることができない。

3 準備物

ピクチャーカード, ワークシート,

4 学習展開 (6 限目/8)

学習過程	課題の設定	情報の収集	整理・分析	まとめ・創造・表現	実行	振り返り
	学 習 活 動		指 導 上 の 留 意 点			評価規準 (評価方法) 【資質・能力】
導 入 (10分)	1 英語係による号令 あいさつ					
	2 Warming up 単語・基本表現の練習 (K…繰り返し挑戦する)					
	3 本時のめあてを確認する					
	<p>【本時のめあて】 友達が持っているものの数を尋ねたり, 答えたりすることができる。</p>					
展 開 (35分)	4 How many ~?を使ったゲーム をする。 ・カードコレクターゲーム					
	・動物何匹見えるかなゲーム カードA, カードBを持ったペアで相手のカード内の動物の数を尋ねる。					
	5 自分の持ち物について, 複数形を用いて英文を書く。 (J…じっくり考える)					
	6 対話練習をする。					
	7 How many ~?を使って友達に持っているものの数を尋ねる。 (H…はっきり表現する)					How many~?を用いた文を作ることができる。また, それに対して応答することができる。 (行動の観察・ワークシート) 【思—③】
ま と め (5分)	8 本時のまとめをする。					
	9 本時を振り返り, 次時につなげる。					
	10 英語係によるあいさつ					

